



## 住民と行政との信頼・協働によるまちづくり

行政評価導入事業	41万円	平成26年度から行政評価を実施するため、先進事例の研究や、研修を行います。
ふるさと寄付促進事業	73万円	一定以上ふるさと寄付をされた方に、特産品を贈呈することにより、寄付額の増加と町のPRを図ります。

## 地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり

中学校給食導入促進事業	4,949万円	平成26年度からの中学校給食開始を目指し、東能勢中学校と吉川中学校の配膳室の改修工事および給食開始に必要な物品を購入します。
ユーベルホール大規模改修事業	4,048万円	施設の老朽化に伴い、舞台装置や空調設備等の大規模改修を行います。
小学校情報機器更新事業	581万円	光風台小学校、東ときわ台小学校の情報教室のパソコン等を更新します。
リレーうちどく(家読)を中心とした読書推進事業	200万円	昨年度に引き続き、本をリレーしながらの家庭読書「リレーうちどく」を実施します。読書の機会を提供することを通じて学習意欲の向上を図るとともに、子どもと保護者、学校と保護者、子どもどうしのつながりを深めていきます。

## 豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり

学習農園事業	48万円	耕作されていない農地を借り上げ、農業の体験学習を行います。
--------	------	-------------------------------

## 元気で暮らせる支え合いのまちづくり

子宮頸がんワクチン等接種事業	1,350万円	対象年齢層に子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種に係る費用を助成します。
妊婦健診費用助成事業	600万円	妊婦健診に係る費用を助成する受診券を交付します。 (1回目…上限1万円、2～14回目…上限各5千円)
中学生入院医療費助成事業	277万円	小学生までを対象に実施してきました入院医療費等の一部助成を、15歳(15歳になる最初の3月31日)まで対象を拡大します。

## 活力あるまちづくり

イメージキャラクター創作物業	346万円	豊能町の様々な魅力や特性を町の内外に効果的・積極的に発信し、町を活性化させるセールスツールとしてイメージキャラクターを創作します。
コミュニティセンター交流事業	350万円	高山コミュニティセンター(右近の郷)の活用により、都市と農村の交流事業を促進し、地域の活性化をはかります。
野生鹿、猪等農林業被害防止事業	331万円	有害鳥獣の捕獲を推進し、農林業への被害を防止します。

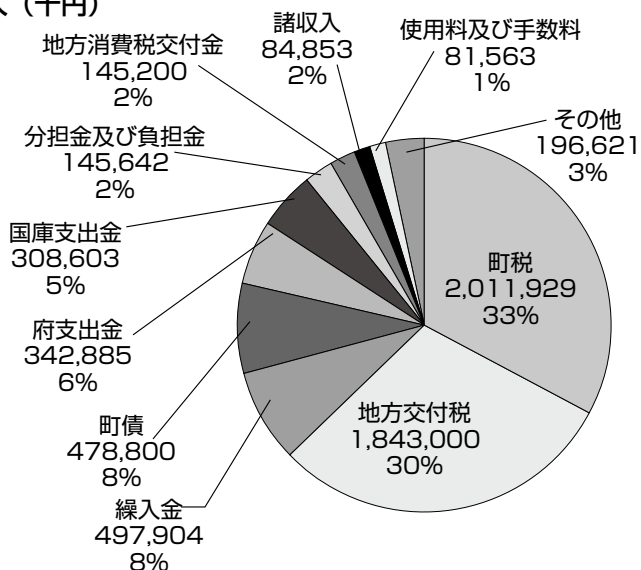
## 安全・安心のまちづくり

消防庁舎新築移転工事業	2億3,368万円	平成24年度からの継続事業として、消防本部庁舎の新築移転を行います。消防活動の拠点となる施設の耐震性と、消防力の向上を図るとともに、箕面市との連携強化と、効率的な消防体制を確立します。
光風台大橋耐震化事業	8,400万円	平成24年度からの継続事業として、光風台大橋の耐震化を行います。橋梁の耐震補強により、安全で安心な道路を目指します。
水道施設耐震診断事業(水道事業会計)	2,000万円	水道施設の耐震化を行うため配水池等の耐震診断を実施し、その結果に応じて、施設ごとに補強方法を検討します。
地域防災計画修正事業	220万円	豊能町地域防災計画を、社会情勢の変化や、南海トラフ巨大地震の被害想定等を踏まえたものに修正します。
吉川支所整備検討事業	172万円	施設が老朽化しているため、耐震化などについて検討します。
光風台エスカレーター更新基本設計事業	140万円	光風台エスカレーターの更新に向けて、基本設計を行います。

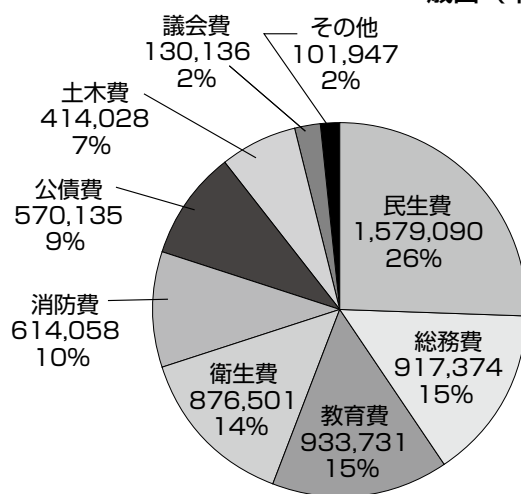
※ %は小数点以下第1位を四捨五入（端数処理の関係で一部一致しない場合があります）

## ■ 平成25年度一般会計当初予算 61億3700万円

歳入（千円）

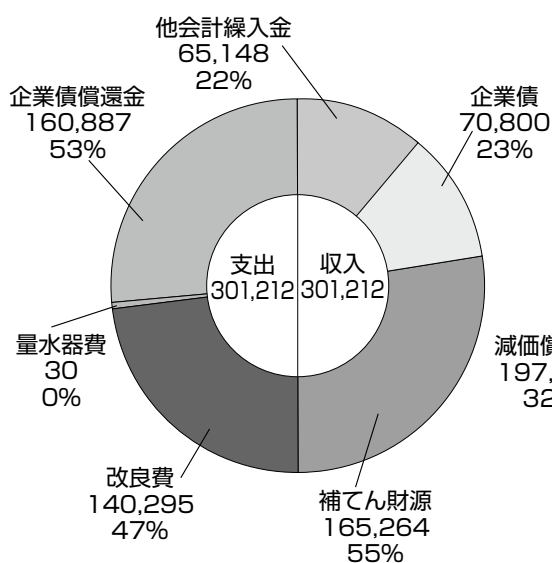


歳出（千円）

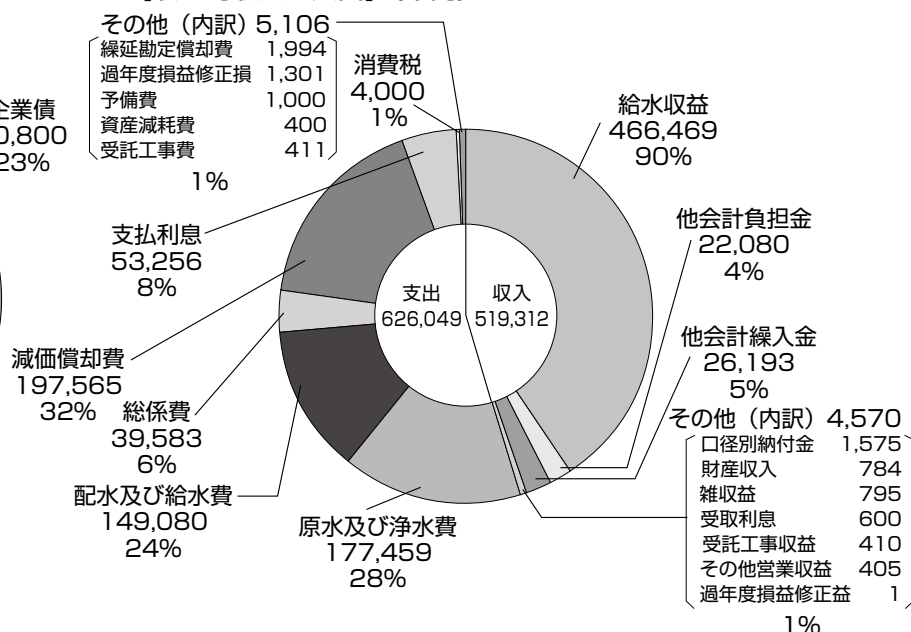


## ■ 平成25年度 水道事業会計当初予算 9億2,726万円

【資本的収入・支出】（千円）



【収益的収入・支出】（千円）



### ○ 当初予算の総額

(単位：千円/%)

会計名	平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	増減額 (ア)-(イ)=(ウ)	対前年比 (ウ)/(イ)%
一般会計	6,137,000	5,840,000	297,000	5.1
特別会計				
国民健康保険事業勘定	2,902,436	2,851,964	50,472	1.8
国民健康保険診療所施設勘定	107,887	114,044	△6,157	△5.4
後期高齢者医療	331,911	330,246	1,665	0.5
介護保険事業勘定	1,728,352	1,554,893	173,459	11.2
下水道事業	493,461	441,621	51,840	11.7
生活排水処理事業	15,018	15,281	△263	△1.7
小計	5,579,065	5,308,049	271,016	5.1
水道事業会計	927,261	864,195	63,066	7.3
合計	12,643,326	12,012,244	631,082	5.3

# ●●● 財政再建計画の進捗状況をお知らせします ●●●

財政再建の推進と住民サービスの充実や町の活性化という二律背反するテーマの整合を図りつつ、将来を見据えた計画推進のため、「ごみ収集の有料化」「光風台エスカレーター」「ユーベルホール」の3項目については見直しを行いました。

町税収入の減少は今後も続く予想されるなか、将来を見据えた安定した財政運営ができるよう、引き続き歳出改革と歳入確保を図りながら、住民の皆さんが安心できる暮らしを実現するため、さらに財政再建に取り組みますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 財政再建計画（平成22年度～平成26年度）の進捗状況《25項目》

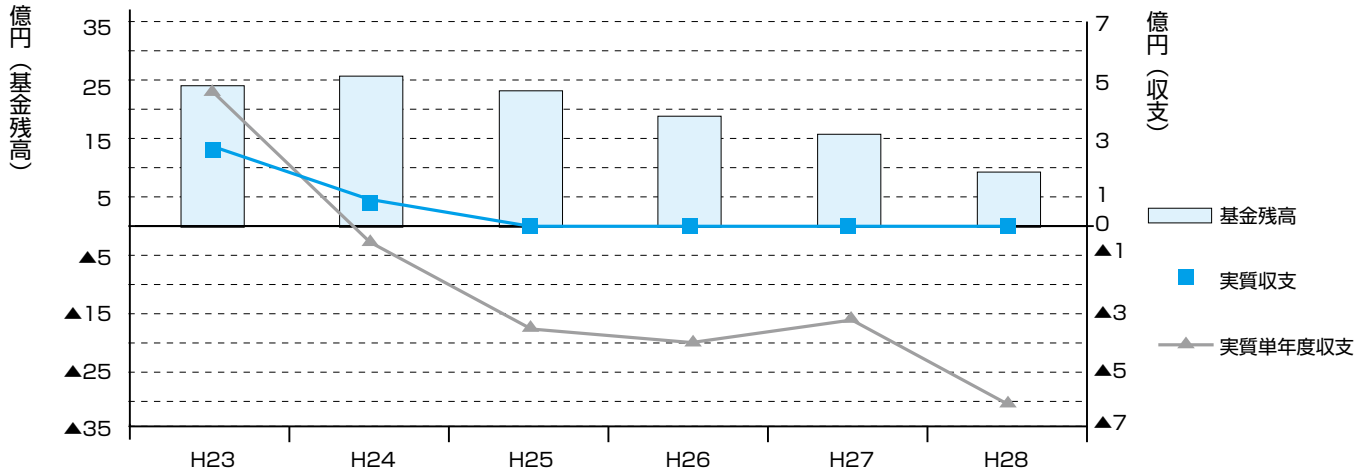
項目	当初計画（平成22年3月）	進捗状況（平成25年4月現在）
①人件費	22年4月から5年間、職員給与を5%削減。	実施済み
	22年4月から非常勤職員報酬を見直し。	実施済み
	22年4月から任期中、特別職等の給与を（町長17%、副町長・教育長7%）削減。	実施済み（ただし町長は20%削減）
	管理職手当の削減（部長・次長級15%、課長級10%）を継続。	実施済み
	職員数を削減（22年度当初比、26年度までに30人減）。再任用制度を凍結。	計画を前倒して実施中 22年度から実施済み
②地デジ放送整備費助成	町独自の助成は行わない。	実施済み
③巡回バス	22年4月から料金の減免を廃止。運行は23年4月からの廃止も含め全面見直し。バス車両の更新を見送り。	22年4月から減免廃止済み。バス車両の更新見送り。23年7月から東地区巡回、西地区巡回を休止。社会実験として、①新東西線は希望ヶ丘～ときわ台駅とし、真面森町に停車。②東地区にはデマンドタクシーを導入。23年12月から新光風台循環と東ときわ台循環を統合した新路線バスに補助金を交付。
④本庁受付業務	23年度から業務委託を廃止し、職員が行う。	実施済み
⑤豊悠プラザと保健センター	23年4月統合。	25年4月から保健センターと新築事務所棟に統合。豊悠プラザは廃止し、民間を活用。
⑥国保診療所	医療機器の更新を見送り、合理化に向け検討。	医療機器の更新を見送り。合理化策は未定。
⑦ふれあい文化センターと老人憩の家	23年4月統合。	当分の間、統合せず併存し、あり方を検討。ふれあい文化センター分館は23年3月末に廃止し、25年度に解体。
⑧農村婦人の家	23年3月末に廃止。	25年度に調理加工室を追加修繕後廃止。26年4月に地元へ移管。
⑨清掃事務所	整備を見送り。既存施設を活用。	整備を見送り。23年4月、現事務所（吉川支所2階）に環境課事務所と清掃事務所を統合済み。
⑩ごみ収集の有料化	23年4月実施。	23年4月から粗大ごみの有料化を実施済み。不燃・可燃の有料化は、26年度までの間は実施しない。
⑪光風台エスカレーター	設備の更新を見送り、毎年度修繕費計上。26年度末までに廃止。	25年度基本設計。26年度～27年度に更新。
⑫上水道事業への繰出金	22年度から減額。	実施済み
⑬下水道事業への繰出金	22年度から減額。	実施済み
⑭消防団ポンプ車の更新	毎年の更新をやめ、隔年に1台更新。	実施中
⑮東地区幼保一元化	23年4月から双葉保育所と東能勢幼稚園を統合して、東能勢幼稚園敷地内に一元化し、こども園を設置。	実施済み
⑯西地区幼稚園統合	23年4月から吉川幼稚園と光風台幼稚園を統合して、光風台幼稚園敷地内に設置。	実施済み
⑰社会教育関係施設の運営協議会	22年度から社会教育委員会に一元化。	実施済み
⑱公民館自主事業・図書館自主事業	22年度から館の事業予算を生涯学習課の経常予算に一元化することによって、総事業費を削減。	実施済み
⑲吉川公民館	23年3月末に廃止。	実施済み。地元に移管済み。
⑳図書館	コンピュータシステムの更新を見送り。	国の交付金を活用し、コンピュータシステムを更新（23年度）。
㉑ユーベルホール	22年度は自主事業を削減。23年3月末休止。舞台装置等改修見送り。	25年度から3年計画で舞台装置等の改修。
㉒青少年総合スポーツセンター	体育館、プールの改修を見送り。プールは22年度から廃止し、学校のプールを活用。	実施済み。ただし、学校ではなく、シートのプールを活用。
㉓シート指定管理料	23年度から利用料金を見直し、指定管理料を削減。	24年度から利用料金の見直し等により指定管理料を削減。
㉔吉川支所	身体障害者用便所の改修を見送り。	実施済み
㉕駐輪場	光風台駐輪場の塗装を見送り。妙見口、ときわ台、光風台とも、合理化に向け検討。	光風台駐輪場の塗装を見送り。合理化策は未定。

▶問合せ = 企画政策課 ☎ 739-3415

# ●●● 豊能町の財政推計(平成25年3月現在) ●●●

平成24年度から平成28年度の5年間(平成23年度は決算数値)について、町の財政推計を作成しました。  
24年度から26年度までの数値については、右ページに記載の「財政再建計画の進捗状況」を反映した上で作成しています。  
財政推計により分かる今後の町の財政状況は、以下のとおりです。

町の財政推計



## ○基金残高

町の貯金にあたるものです。用途を限定しない「財政調整基金」と、町有施設の建設等、特定の目的のために積み立てる「特定目的基金」があります。

平成24年度までは、財政再建計画の効果や、地方交付税・国府の交付金等の増額により、基金の残高が増えていますが、平成25年度以降は減少傾向となります。

24年度までは、家計のやりくりで節約した上に、給料(町税等)は減ったものの、ボーナス(地方交付税、国や府からの補助金等)が予定よりたくさん出たため、結果として貯金もできました。25年度以降は、給料がどんどん減っていく上に、ボーナスも減るかもしれないので、貯金をおろし続けて生活をするしかない…というイメージです。

※グラフ中の基金残高は、5月末(出納閉鎖)時点での現金ベース額を示しています。

## ○実質収支

町の実質収支は、平成25年度以降0で推移しています。数値上は0ですが、基金を取り崩して歳出の補填に充てることにより、収支ゼロを維持しています。

家計にあてはめてみると、給料やボーナスだけでは生活ができないので、貯金をおろしてその年の支出に充てることにより、結果として収支がプラスマイナスゼロとなっている状態です。

一般的に新聞やニュースなどで「〇〇〇市の決算は黒字でした。」とか、「△△町の決算は赤字でした。」といわれるのは、実質収支の額によるものです。

## ○実質単年度収支

実質単年度収支とは、前年度実質収支の黒字額(赤字の場合は赤字額)や基金の積立て・取崩しがないと仮定した場合、年間収支がどうなるかを表した数値であり、この数値が平成24年度からマイナスとなっています。町では、平成24年度は実質収支の黒字を確保したものの、収入のうち繰越金の額(前年度の黒字額)が大きかったため、これがないと仮定した場合、赤字になってしまうということです。

家計に例えると、貯金のおし入れや、前年度からの繰越金を収入として計算せずに、単純にその年の収入額から支出額を引いた金額を表したものです。その年の収入額が支出額より少なければマイナスとなります。

このように、豊能町の決算状況は、ここ1～2年では黒字を確保しており、数値上は改善傾向にありますが、中・長期的な推計を行った場合、財政状況は厳しいものであることが分かります。

本町には大きな法人がなく、税収の大部分を住民税や固定資産税に頼っている中で、少子高齢化や人口の減少により町税が減少傾向にあります。必然的に、収入の大部分を地方交付税等の依存財源に頼ることとなりますが、これは国の財政政策により本町の財政状況が左右されてしまうということです。

長期的に安定した町政運営を行うためには、収入の確保や歳出改善等の財政健全化策が、引き続き必要となります。

▶問合せ=総務課 ☎739-3414